議会だより 2022 秋 No.103

発行：初山別村議会
編集：議会報発行特別委員会

令和４年11月発行

提出議案と審議結果

議案番号	案　件　名	結果
同意第３号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
報告第２号	令和３年度北海道初山別村健全化判断比率の報告について	報告済
報告第３号	株式会社しょさんべつ振興公社の経営状況ついて	報告済
議案第33号	初山別村議会議員及び初山別村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第34号	非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第35号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第36号	フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第37号	初山別村税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第38号	初山別村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第７号	専決処分の承認を求めることについて 令和４年度一般会計補正予算（第３号）	承認
承認第８号	専決処分の承認を求めることについて 令和４年度一般会計補正予算（第４号）	承認
承認第９号	専決処分の承認を求めることについて 令和４年度簡易水道事業特別会計補正予算（第２号）	承認
議案第39号	令和４年度一般会計補正予算（第５号）	可決
議案第40号	令和４年度国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	可決
議案第41号	令和４年度介護保険特別会計補正予算（第２号）	可決
議案第42号	令和４年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第２号）	可決
議案第43号	令和４年度簡易水道事業特別会計補正予算（第３号）	可決
議案第44号	令和４年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）	可決
認定第１号	令和３年度北海道初山別村各会計歳入歳出決算等の認定について	認定

９月定例会

９月議会定例会は、９月13日・14日の２日間にわたり開かれました。

村長提出の議案は、令和３年度一般会計及び各会計の決算認定をはじめ、教育委員会委員の任命同意、条例の改正、一般会計及び特別会計の補正予算など19件で、いずれも審議の結果、原案どおり認定・承認・可決されました。

一般質問では、斉藤議員・髙場議員・三谷議員が村政の執行について、村長・教育長の考えをただしました。また、議員から提出された意見書案１件を可決し、関係行政庁へ送付しました。

委員の同意

■教育委員会委員
初山別村字有明
大家　貴代氏
（新任）

報告

■令和3年度健全化判断比率等の報告
↓実質公債費率　6・3％
前年度比
△0・3ポイント

Q 髙場議員
マイナスとなっている比率は。

A 加藤総務課長
マイナス146・1％となっている。

■株式会社しょさんべつ振興公社の経営状況について
↓令和4年度予算額
1億4810万0000円
令和3年度決算額
1億3823万1159円

条例

■初山別村議会議員及び初山別村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
↓公職選挙法施行令の改正に伴う改正。

■非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例
↓国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴う改正。

■職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
↓地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う改正。

■フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
↓北海道最低賃金の改定に伴う改正。

■初山別村税条例の一部を改正する条例
↓新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した者に対し国保税を減免するため改正。

■初山別村介護保険条例の一部を改正する条例
↓新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した者に対し介護保険料を減免するため改正。

承認

■専決処分の承認について【令和4年度初山別村一般会計補正予算（第3号）】
386万1千円を追加し、24億6616万8千円に。

■専決処分の承認について【令和4年度初山別村一般会計補正予算（第4号）】
↓1078万9千円を追加し、24億7695万7千円に。

■専決処分の承認について【令和4年度初山別村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）】
↓78万9千円を追加し、1億4549万6千円に。

補正予算

■一般会計
↓4940万6千円を追加し、25億2636万3千円に。

【岬センター】

Q 鎌田副議長
トイレのフラッシュバルブ何か所修繕か、公共施設のトイレであり早期修繕が必要では。

A 寺﨑経済課長
男子トイレ3か所の交換、今後は早急に対応したい。

【マイナンバーカード】

Q 髙場議員
マイナンバーカードの保有率と取得の推進について。

A 小川住民課長
5月末で保有者は441名、人口に対し40・5％、今後使い道が拡大される、取得拡大に向け広報を増やしたい。

■国民健康保険特別会計
↓260万3千円を追加し、2億6283万6千円に。

■介護保険特別会計
↓734万1千円を追加し、1億9772万1千円に。

■後期高齢者医療保険特別会計
↓7万4千円を追加し、2137万4千円に。

■簡易水道事業特別会計
↓747万1千円を追加し、1億5296万7千円に。

■農業集落排水事業特別会計
↓7千円を追加し、1億0380万7千円に。

意見書

■国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書
提出者　鎌田　健治　議員
賛成者　髙場志津子　議員
賛成者　三谷　博子　議員

提出者　鎌田議員

一般質問

斉藤　勝博　議員

Q ドローン（無人航空機）の導入検討について

A　ドローンの活用について、幅広く検討していきたい

ドローン（無人航空機）の導入・操縦者の育成について

議員　近年、様々な地域において地震や大雨、台風などの自然災害による被害が発生しており、本村においても8月の大雨により大きな被害が発生したところであります。そのような状況の中で、地方自治体の中には、災害の被災状況や被災者の状況確認などにおいて、ドローン（無人航空機）を有効活用する事例が増加してきており、災害時の活用の他にも、鳥獣害対策や観光PRにも活用できる、ドローンの利便性については、多くの自治体も注目している状況にあります。少子高齢化や人口減少が進み、労働人口の減少が大きな社会問題となる中、様々な分野で活用可能なドローンは、今後更に身近な存在となることは明白であり、本村においてもドローン導入を検討し、同時に操縦者の育成を進める必要があると考えるが、村長の考えを伺いたい。

村長　近年、災害対策、地域産業の担い手確保、若者の定住化といった地域課題の解決や農業、教育分野を充実させる施策を展開していく中で、ドローンの活用が注目されている。実際の活用が始まったばかりであるドローンは、様々な研究や実験を通じて、より性能が向上し、活用方法がこれまで以上に広がっていく可能性があります。一方利用するにあたっては、操縦者の技術習得や安全管理のほか運用面として予算、運用、保管、整備など導入にあたり様々な課題をクリアしていく必要がある。時代の潮流としてドローンの利活用促進に向けた施策の必要性を十分に認識し、村におけるドローンの導入については、総合的に勘案しながら、また先行して取り組まれている自治体などの運用事例等を参考にし、今後あるべき方向性の検討をしてまいりたい。

一問一答

議員　8月には、大雨による被害、地震が発生し村民の皆さんの不安も大きなものになっていると推察する。ここ数年での気候変動、頻発する自然災害に危機感を強くしているが、村長はどう感じているか。

村長　地球環境の変動と共に色々な自然災害が多く発生している。異常化への危機感を持って、新たな段階で対応しなければならないという議員と同じ認識。

議員　災害現場における危険区域での活動において、ドローンの存在は絶対的と思うが、村長の考えは。

村長　確認を直接人が行う部分では危険を伴い、難しい場面も想定される。近代機器を活用し調査し、次の対策を練ることは大変重要。村の未来のためにも必要なことだと思う。

議員　観光PRへの活用については。

村長　日常の視線と違う視点での映像は非常に新鮮に感じる。村の魅力を発信するため、どういった手立てが必要か検討を深めたい。

議員　ドローンを導入し何ができるかは、実際に活用しなければわかない部分も多いと思う。様々なところでドローン導入、操縦者の育成に関する協議がなされることを期待する。

宮本村長

一般質問

髙場　志津子　議員

Q　初山別村文化財の保存と継承について

A　保存主体の所有権及び財産権を尊重し活動支援をしていきたい

初山別村文化財の保存と継承について

議員　村では昭和60年に初山別村文化財保護条例を制定し、有明獅子舞を第1号に、平成28年には金比羅神社を2番目に指定いている。無形・有形にかかわらず村の誇りであり宝でもある文化財を保存し、後世に伝えていかなければならない。依ってその方策について教育長に伺う。

①有明獅子舞は、昭和40年に初山別村郷土民芸保存会が設立され、昭和61年からは有明小学校児童がふるさと学習の一環で舞に取り組み有明をあげて伝承してきたところであるが、平成22年には奉納できない状態となった。賛同する方たちが集い平成26年再開し、年々演舞数も増え盛大になってきていたがコロナ禍により3年間中断されている。児童生徒へのふるさと学習としての取り組みや、条例の目的である村民の文化の向上に資する活用等、文化財の保存と継承の努力が必要と考えるがいかがか。

②金比羅神社は、大正、昭和と2回にわたり御堂の改修、新築がなされ、毎年7月20日に海難事故防止と豊漁祈願の例大祭が執り行われている。昭和56年に大鳥居が建立されてからは、観光スポットとして注目され、多くの旅行者も参拝してくれている。村の文化財として、維持、補修等どのように考えているか伺います。

教育長　①無形文化財、有明獅子舞は、昭和40年に結成されている初山別村郷土民芸保存会が中心となり平成22年までの間、道内で開催された伝統芸能発表会などへの参加、演舞指導等の活動が行われてきた。有明小中学校の統合後も初山別小学校の学芸会で発表する等、児童生徒への郷土芸能学習の場として取り組んできた。平成23年に保存会は解散したが、新たな体制づくりに協力し、平成26年に有明獅子舞有志の会が発足、演舞が復活された。村では、演舞に必要な消耗品や運営に対し支援を行ってきた。コロナ禍により活動ができない状況となっているが、再開の際は有志の会、地域の方々とともに保存活動への支援を継続したい。

②有形文化財、金比羅神社は、歴史的な背景からも貴重な文化材であるとともに、近年では観光拠点的な役割も担っている。祠や御堂は所有者である金比羅宮の方々により維持されてきた。維持補修等は関係者の所有権及び財産権を尊重し保存活動の充実を図りたい。

一問一答

議員　文化財の保護、保存、そして後世へ伝えることについて、十分になされていたか。

教育長　現状を踏まえた中で、可能な支援、対応策を所有者の意見を尊重する中で継続してきている。

議員　最近のふるさと学習での取り組み内容は、有明獅子舞をどのように紹介しているか。

教育長　総合的な学習で演舞の対応をしていたが、コロナ禍により難しくなり副読本での対応で進めている。

議員　有明獅子舞に関し演舞は映像として記録されているか、また機会があれば見せる取り組みもしては。

教育長　すべてではないが映像としてある。ロビーでの放映等、今後文化祭等事業を進める中で対応したい。

議員　金比羅神社の維持補修に対する費用は。

教育長　教育委員会の予算で対応する。

一般質問

三谷　博子　議員

Q 配信メール以外の新たな情報伝達の方法は

A 生活支援メールを活かしつつより効果的なシステム導入を検討したい

自助・共助・公助の連携と協働で築く災害への備えを万全にするために

議員 令和4年8月8日から9日の大雨による災害。11日未明の道北を震源としたマグニチュード5・2と5・4の地震、発生から4年を迎えた最大震度7を観測した胆振東部地震から見えた、本村の危機管理の課題と解決策について伺います。

①災害時にJアラートは作動していたが、住民の避難行動を支援する防災情報の提供は配信メールを含め不足していた。又屋内ではJアラートの音声は聞き取れなかった。災害時に避難行動が容易にとれるよう、防災情報を村民にわかりやすく提供し、避難のタイミングを明確化するためにJアラートと広報車を上手く活用すると共に、早急に戸別の受信機、光回線を利用したテレビ電話等を設置する必要があるのでは。

②各町内会の防災組織と村、相互間での情報の収集と伝達は速やかに行われていたか。町内任せになっていなかったか。各町内に配置されている地域ふれあい担当職員を副会長に位置付け、防災組織の一員にする等、普段から組織と村との関係を密にする必要があるのでは。

③村の協力要請先に位置付けられている村赤十字奉仕団を村災害対策本部の組織に組入れ共に行動できると大きな戦力となるのでは。

村長 ①防災情報の住民周知については、一連の状況を検証し更なる対応の必要性を感じた。災害の状況に応じたタイムラインの作成などを進める。光回線を利用した、より効率性の高いIP告知放送への検討をしている。生活支援メールの登録促進を図り、より効果的な機器やシステムの導入を前向きに検討したい。

②村が情報収集した内容を町内会、自治会に迅速に情報提供を行える体制づくりを図りたい。地域ふれあい担当職員は地域の声を反映するために配置している。有事の際は災害対策本部の一員となるため難しい。

③国の災害対策基本法により定められている者を指名している。赤十字奉仕団をはじめとする各機関には、有事の際に様々な協力をいただく必要があるため、情報共有を密にし、徹底した連絡体制の充実に努めたい。

村長 情報を取りづらい方への対策が柱になる、極めて緊急性の高い問題である。スピード感をもって対応していきたい。

議員 災害時の村民に対する注意、呼びかけ、指示はできないか。

村長 機会を捉え情報を流すことは意味がある。村、村民ともに意識を高め、防災力を高めていかなければと強く感じる。

議員 想定外の災害害が多くなる中、国の方針にとらわれることなく赤十字奉仕団を入れた方が動きが速いのでは。

村長 大事なのは情報の共有、対策を共有し、確認しながら動くことが必要。かなり課題はあるが一つ一つ必要なことを実装し、実際に行動することが必要と思う。

一問一答

議員 音で村民に危険を知らせる手立てをどのように考えるか。

村長 今の状況に満足していない。伝わる仕組みを、知見を深めて検討したい。啓発活動も必要と考える。

議員 情報の伝わらない村民もいる。早期に準備をしていただきたいが。

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、9月13、14日にわたり、令和3年度各会計決算を審議し、全ての会計を全員賛成で認定しました。

斉藤　委員長

民生費

○地域公共交通対策事業費

Q 髙場委員

しょさる号の運行を1年行い、ボランティアドライバーの確保が課題と思うが。

A 小川住民課長

平日、ボランティアドライバーがたりない現状。社協職員による対応もあり、再度打ち合わせを行う。

○保育所運営費

Q 髙場委員

保育所への満3歳児の途中入所について、早くから子ども同士の関係を築くためにも検討しては。

A 小川住民課長

今の段階で、変更するようなことは考えていない。どういった形が良いか検討する。

衛生費

○母子保健事業費

Q 髙場委員

3年度に設置された子育て世代包括支援センターの実績と個別の支援プラン作成は。

A 小川住民課長

母子手帳交付時、子育ての相談の実施、乳幼児の各種健診、育児教室を実施。個別の支援計画は策定対象がいなかった。

○健康増進費

Q 髙場委員

チャレンジマイレージポイントが年数が経ったが、数が伸びない要因をどう考えるか。

A 小川住民課長

継続参加者以外へ広めるための検討を重ねたい。

土木費

○公園費

Q 鎌田委員

コロナの関係もあるがみさき台公園野球場の利用状況は。多目的な用途の利用も検討しては

A 寺﨑経済課長

利用はなかった。利用しやすいよう管理、PRしたい。

Q 三谷副委員長

公園遊具の点検と増やすことを考えていないか。

A 寺﨑経済課長

森林環境譲与税を活用し木製遊具の設置を検討中。再度点検し遊べる対応をしたい。

消防費

○災害対策費

Q 髙場委員

災害備蓄品の保管状況と自首防災組織のカバー率について。

A 山崎企画振興室長

災害備蓄品については配置計画のもと各会館へ配置、世帯カバー率で81・2％となっている。

教育費

○学校管理費

Q 三谷副委員長

部活動の外部指導について

A 大西教育次長

5年度より土曜、日曜日の部活動についての移行に向け意見交換を行い検討している。

歳入

○村民税、固定資産税

Q 加藤委員

滞納繰越についての今後の対策は。

A 加藤総務課長

納税相談を行い個別に対応をしている状況。

○ふるさと応援寄付金

Q 三谷副委員長

3年度の対策と成果について。

A 加藤総務課長

現在村HP・さとふるの2つの間口で実施し、件数で74％、金額で45・9％の増となっている。

Q 髙場委員

寄付金の取り崩しは。

A 加藤総務課長

新年度予算に向け検討したい。

★議長所感

木村　議長

様々な視点から住民生活に沿った活発な審査が行われた。令和3年度も2年度と同じくコロナ対策に追われた1年間であったと思う。実質公債費率6・3％と様々な事業に取り組みながらも健全財政を維持し、3億3千2百万の事業を行い、光ファイバー事業が大きくこれからの村民生活に多くのものをもたらしてくれるものと思う。様々な村民の求めがあるわけですが防災の対策、有事の際の村民の安心、安全な暮らしのために、時代の流れに沿った様々な対策を、スピード感を持って今後もやっていただきたい。そして村民が安心できる村づくりに邁進していただきたい。

村内主要事業等を調査

総務経済常任委員会（髙場志津子委員長）は、10月７日に本年度予算に計上された主な事業の実施状況及び８月の大雨による災害個所についての現地調査を行い、検討の結果をとりまとめ村に提出しました。

主な調査場所と検討結果は次のとおりです。

①大高橋補修事業

・施工状況を調査

工事請負費

３５，５３０千円

【所見】

住民の生活道路であり、今後も適正な維持管理を望む。

②天文台改修事業

・施工状況を調査

工事請負費

４０，８１０千円

【所見】

村のランドマークでもあるので、適正な施設の改修、維持管理を望む。

③栄第１・第２間線土砂災害防止対策事業

・施工状況を調査

工事請負費

１１，３９６千円

【所見】

道路全般において、排水等の適正な管理が望まれる。

④初山別５条線道路排水改修事業

・施工状況を調査

工事請負費

１７，４３５千円

【所見】

住民が安心して生活できるよう、早期の改修を望む。

⑤８月８日から９日大雨被害状況

・被害状況を調査

【所見】

被害区間が広がらないよう、早期の復旧を望む。

※事務調査

・初山別事業協同組合運営概要について

所管する経済課より経過等についての説明を受け、質疑を行った。

・村の今後のデジタル化について

所管する企画振興室より現状についての説明を受け、質疑を行った。

会議録の閲覧ができます

議会だよりは、議会の議決の状況や審議の概要についてお知らせしておりますが、詳しい内容については、ホームページで会議録閲覧ができます。また、ネットでの閲覧ができない方は、議会事務局までお問合せください。

議会を傍聴しましょう

どなたでも議会を傍聴することができます。

次の定例会は12月です

是非、お気軽に傍聴にお越しください。

議　会　の　う　ご　き

8月		9月	
10	例月出納検査（監査委員）	29・30	上川・留萌管内女性議員研修会（高場議員・増毛町）
15	初山別村戦没者追悼式（議長外議員多数）	**10月**	
22	北海道市町村職員退職手当組合議会定例会（議長・札幌市）	7	総務経済常任委員会所管事務調査（委員長外委員全員及び議長）
31	議会運営委員会（委員長外委員全員及び議長）	14	例月出納検査（監査委員）
	議会全員協議会（議長外全議員）	14	議会報発行特別委員会（委員長外委員全員）
9月		19～22	総務経済常任委員会所管事務調査（委員長外委員多数及び議長）
12	例月出納検査（監査委員）		
13・14	第３回定例会（議長外全議員）		
	決算審査特別委員会（委員長外委員全員及び議長）		

編集後記

写真用フイルム白黒36枚撮り1本190円、タバコいこい50円、しんせい40円。

中卒で、もう一人前に働いていた時代、酒もタバコの味も知っていた。

高校も定時制（夜間）である。昭和37、8年頃の日記を見ると、造林や造材、山で働き月2万6千円から3万6千円で、昭和の良き時代。都会に出て就職してみれば、9千円から1万2千円、それでもなんとか生活は出来た。

夢も希望もあった。

過労死などという言葉はなかった。

（文責・山本　康男）

議会報発行特別委員会

委員長　三谷　博子
副委員長　長谷川幸廣
委員　山本　康男
委員　加藤　一裕